

令和4年度学校評価報告書

令和5年3月17日

北海道教育委員会教育長 様

北海道網走南ヶ丘高等学校長 渡 辺 淳 一

次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標等

<p>【スクール・ミッション】地域から期待されているオホーツク東部の中心校として、広域から入学する多様な生徒の豊かな心と健やかな体をはぐくみ、社会に貢献できる指導的役割を担う人間を育成します。</p> <p>【スクール・ポリシー】</p> <p>〈グラデュエーション・ポリシー：育成を目指す資質・能力に関する方針〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「基本的な生活習慣」の確立 = 明澄端正・奉仕勤労</li> <li>「自ら学ぶ態度」の確立 = 自主自立・明澄端正</li> <li>「家庭学習習慣」の確立 = 奉仕勤労・自主自立</li> </ul> <p>〈カリキュラム・ポリシー：教育課程編成・実施に関する方針〉</p> <p>生徒一人ひとりの進路希望の実現や学力を伸ばすため、卒業後の進路や適性を踏まえた教科・科目選択を行い、自分に合った時間割を生徒自ら作成できるよう教育課程を編成し、確かな学力の向上を目指した授業を実施する。</p> <p>〈アドミッション・ポリシー：入学者の受け入れに関する方針〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学進学等、将来の目標をしっかりと持ち、自ら学ぶとする意欲の高い生徒</li> <li>生徒会活動や学校行事、部活動等において、リーダー性を発揮し、主体的に取り組む生徒</li> </ul>
---

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的・基本的事項の理解と読解力の向上。</li> <li>自ら学ぶ態度の育成と家庭学習の時間の確保。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力の向上には、生徒の「学び」に対する「意欲」を高めることが必要。日常の教科指導、進路指導、学校行事等で「意欲」高める指導の充実を図って欲しい。</li> <li>学力の向上のために、不振の原因と向上の要因の分析を行い学習指導の充実を図って欲しい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開授業週間を活用して、ICT等を活用した授業実践と改善を実施し、教員の資質の向上を図り、生徒の学びへの「意欲」を高める。</li> <li>教務部と年次が連携し生徒自ら学習時間を記録・集計させ、学習時間の「見える化」させ、面談等を通して学習意識の向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の進路に合わせ、生徒の資質・能力を把握した取組や指導の充実を図って欲しい。</li> <li>教職インターシップの取組は、実体験を通して、生徒の進路への意欲を高める。このことは、進学実績にも数字として裏付けられていることから今後も継続して取り組んで頂きたい。</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の多様な進路希望の実現に向け、全体的な取組と個々の生徒に応じた個別的な取組を充実。</li> <li>生徒の第一志望を実現する進路実績の向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の進路に合わせ、生徒の資質・能力を把握した取組や指導の充実を図って欲しい。</li> <li>教職インターシップの取組は、実体験を通して、生徒の進路への意欲を高める。このことは、進学実績にも数字として裏付けられていることから今後も継続して取り組んで頂きたい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導部と年次、近隣の小中学校、企業、官公庁との連携によるインターンシップ等の充実と進路ガイダンス等の効果的な組合せでキャリア教育の充実を図る。</li> </ul>	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談の機能を活用し、生徒の「こころとからだ」の健康を維持する方策の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症による教育活動の制限下において、生徒の「こころとからだ」に及ぼす影響が心配される。その対応として教育相談体制のさらなる充実に取り組んでいただきたい。</li> <li>部局活動においてもカウンセリング機能を活かした指導の充実を図って欲しい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒理解支援ツール「ほっと」やhyperQU等のエビデンスに基づいた組織的な生徒理解の充実を図る。</li> <li>教育相談委員会が中心となりスクールカウンセラーと連携した組織的な体制の充実を図る。</li> <li>全校生徒に「こころと健康」のアンケートを定期的実施し、生徒の悩み等の現状を把握し、教育相談委員会にて解決に向け組織的に取り組み、生徒の「こころとからだ」の健康を保持する。</li> </ul>	
保健環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立等を含めた、健康の自己管理能力の育成と安全意識（危機管理）の育成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の育成のためには、スマートフォン等によるSNSの使用に関する指導の充実を図って欲しい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームルーム担任と生徒指導部、養護教諭が連携し、「長期休業中前の心得」や、「ほげんだより」等活用して、基本的な生活習慣の確立に努める。</li> <li>新型コロナウイルス感染症等への対応について、適宜「ほげんだより」等を活用し、生徒の危機管理能力を育成する。</li> <li>集会、啓蒙資料の配付など継続的にスマートフォン、インターネット、SNS等の使用方法等における適切な指導の継続に努める。</li> </ul>	
公表方法	学校だより、学校ホームページ、学校評議員会、PTA役員会での概要報告	

3 添付資料

- 令和4年度 北海道網走南ヶ丘高等学校 全日制課程 学校評価票